九州遠征　九重連山～祖母山

山行日　　2020 年 11 月 14 日～16 日
メンバー　L/Y 崎　N 宮　Y ロ　B　A 柳　K ず　K 田
コース　【11/14】羽田空港　－　大分空港　杵築市内散策
【11/15】大分　－　赤川登山口 7:10　－　久住山 9:00　－　中岳 10:40－　星生山 12:20
－　扇が鼻 13:20 －　赤川登山口　－　LAMP の宿 16:40
【11/16】LAMP の宿　－　祖母山登山口 7:20　－　祖母山 10:10　－　分岐　-登山口　－
別府温泉

11 月 14 日（土）
羽田空港集合、遅れないように早めに到着したつもりだったけれど、私より早く着いていた B さん Y ロさん。Bさんは珈琲を飲んで空港見物済み。Y ロさんは何時に到着したのか、とうとう教えてくれなかった。相当早かったらしい。何度聞いても、ウフフ～♡だった。

大分空港に到着すると、レンタカーで杵築市に向かった。海の近くと言う事で、お昼は海鮮丼のお店をチョイス。新鮮な海の幸たっぷりの海鮮丼はとても美味しかった。大分の食に期待が高まった。

昼食後は、九州の小京都と呼ばれる杵築の町を散策。武家屋敷や石畳が美しい。昔ながらの味噌屋で、ピリリとしたニンニク味噌やらを試食しておかず味噌を購入した。大根やコンニャクに合いそう。もちろん、A 柳さんと K ずさんは“知恵美人”なる地元のお酒を買っていましたよ。

11 月 15 日（日）
前夜の夕食はホテル近くの焼き鳥屋だったっけ。名物のとり天は柔らかくてサクサクで。コースで注文してサラダや焼鳥などどれもボリュームたっぷりだった。
気を取り直して出発の準備。暗い中、車を走らせ登山口に向かった。
歩きはじめてしばらくは、やや大きめの石がゴロゴロしていて所々で硫黄の香りやゆの華が付着していた。小さな流れに手を入れると温かい！

整備された階段を登りつめて行くと、樹林帯を抜けて一気に視界が開け、振り返ると流れる川がキラキラ光り、湯気が立っているのが見えた。真ん中あたりにゆったりと見えるのが阿蘇山。九州出身の A さんによると、さらに遠くに薄っすらと雲の間から頭を出しているのは、雲仙岳らしい。ずいぶん遠くまで来たことを実感する。
景色を眺めながら気持ち良く登り続け、久住山山頂へ。

山頂に立つと、ぐるりと山々が連なり九重連山と呼ばれるのがわかる。ここからがまた苦難の始まりだ。アップダウンを繰り返しながら稜線を行くのだ。

稲星山、九州の最高峰で 1791 メートルの中岳、星生山。せっかく登ったのにまた下るの～？と、ついボヤく。御池を左に眺めながら星生山から扇ケ鼻へ。大きな岩が続き、ちょっとテンションが上がる人も。少し刺激が欲しいらしい。

11 月 16 日（月）

最終日は祖母山。予定していたコースは健脚者向きなので緩かなコースに変更し、登山口まで 1 時間ほど車で移動して登り始めた。このコース変更は大成功、サクサクの落ち葉の道のハイキング。山頂に近くは、ぬかるんで、落ち葉に滑りやすい石が隠れていたり、少し歩きにくく、注意が必要だった。山頂で休憩の後、下山。リーダーの早いペースに頑張ってついて行った。

ペースアップと近道のおかげで、予定より早く下山できた。早く下山できたら温泉…というリーダーの言葉にみんな奮起したのだ。時間ができたので別府温泉に移動。当初の予定では、初日に別府温泉の地獄めぐりをする事になっていたところを変更していたので、ここで湯気の立ち込める街並みを眺めて、温泉で汗を流せたのは何よりうれしいご褒美だった。

美味しい食事と温泉と、山も良かったし景色も素晴らしかった。大分空港でお土産を買って夕食の時間もあった。コース変更と最後の頑張りが全てピタリとうまくいった。そもそも、これだけピッタリとしたコースを選んで時間配分してくれたリーダーのおかげ。長距離の移動を運転してくれたリーダーとKずさんのおかげだ。九州っていいな。初めての九州遠征を満喫できた山行でした。皆さんありがとうございました。（K 田、写真は皆様から）